



(題字 小黒千足 学長)

第 348 号  
(平成 5 年 12 月号)



▲ 冬の風物詩 雪吊り (事務局正面玄関前及び教育学部中庭)

目 次

学 内 諸 報

- ◆ 先端技術特集  
「わかりやすい技術の未来像」講演会開催 ..... 3
- ◆ 平成5年度公開講座の実施  
(硬式テニス初級者コース) ..... 3
- ◆ 海外渡航者 ..... 4
- 人 事 異 動 ..... 4
- 学 事
- ◆ 平成6年度富山大学推薦入学、帰国子女・  
社会人特別選抜志願者等状況 ..... 5

学内トピックス

- ◆ 「げんごひょうげん」No.1を発行 ..... 6
- お 知 ら せ
- ◆ 郵便料金の改定 ..... 7
- 関 係 法 令 ..... 9
- 職 員 消 息 ..... 10
- 計 報 ..... 11
- 諸 会 議 ..... 12
- 主 要 行 事 ..... 13





# 学 内 諸 報

## 平成5年度地域共同研究センター講演会

### 先端技術特集

#### ▷▷ “わかりやすい技術の未来像” ◁◁

去る12月6日(月)工学部106講義室において、企業技術者・学部学生・大学院生・教職員を対象に地域共同研究センター主催の講演会が開催され240名余の参加があり盛会のうちに終了しました。

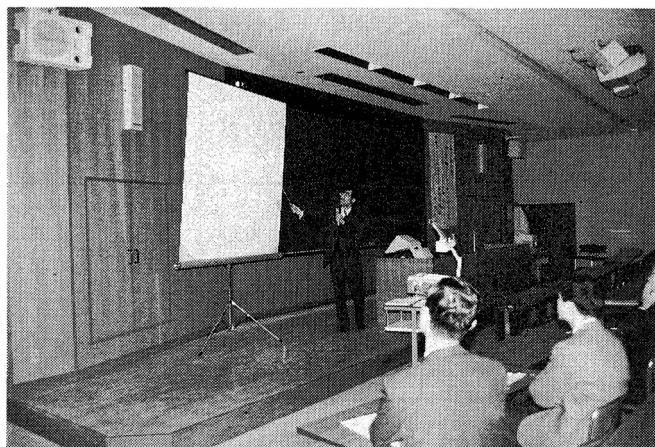
この講演会は、昨今の“技術革新の速度が早すぎて追従しがたく、また情報の洪水により虚像と実像が複雑に入り混じって実体が掴みにくいもの”となっているとの観点から、地域共同研究センターでは、「わかりやすい技術の未来像」と題し解説を行うことを目的に平成3年度から毎年開催しているもので、このたびの講演会は、次のとおり行われました。

#### 1. 「ソフトウェア技術者の見た計算機アーキテクチャの将来像」

株式会社日立製作所システム開発研究所主管研究員  
地域共同研究センター客員教授 渡邊 坦先生

#### 2. 医薬品としての非ペプチド受容体拮抗薬」

湧永製薬株式会社医薬研究所長  
地域共同研究センター客員教授 矢崎 明先生



▲ OHPを用いて説明する矢崎客員教授

## ◎◎ 平成5年度公開講座の実施 ◎◎

平成5年度富山大学公開講座「健康・スポーツ教室(硬式テニス初級者コース)」が12月23日(木)～12月27日(月)までの5日間にわたり本学第1体育館で開設されました。年末の忙しい時期ということもあってか受講生は15人と比較的少なかったものの、各参加者とも寒さを吹き飛ばし元気にプレーを行い最終日には格段に上達されました。

なお、平成5年度に開設した公開講座(3講座7コース)はこれですべて終了しました。各講座の講師の方々には、大変お世話さまでした。

来年度は、より充実した富山大学ならではの公開講座を開設するため、御協力のほどよろしく願いいたします。



▲ ラケットを手に寒さを吹き飛ばし元気に実技に励む受講生

## 海外渡航者

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
外国出張	教育学部 附属幼稚園	教 諭	高桑 幸子	ドイツ, スイス フ ラ ン ス アメリカ合衆国	平成5年度国立大学・学部附 属学校等教官海外教育事情視 察	5. 11. 4 ) 5. 11. 30
	工 学 部	助教授	穴田 博	アメリカ合衆国	PMP '93国際材料プロセス 会議に出席	5. 11. 6 ) 5. 11. 12
	教育学部	教 授	相馬 恒雄	イ ン ド	「 Gondwana 超大陸原生代変 動帯の研究」のための野外調 査	5. 11. 9 ) 5. 12. 1
	人文学部	助教授	末原 達郎	ベルギ ー ケ ニ ア タンザニア	フィールド調査, 資料収集	5. 11. 28 ) 6. 3. 12
海外研修	経済学部	教 授	桂木 健次	アメリカ合衆国	第2回世界閉鎖性海域環境保 全会議出席及び米国環境事情 視察	5. 11. 9 ) 5. 11. 15
	教育学部	助教授	呉羽 長	台 湾	「源氏物語国際会議」に出席, 研究発表	5. 11. 25 ) 5. 11. 29
	理 学 部	助 手	桑井 智彦	フ ラ ン ス	希釈冷凍機システムの組み立 て及び性能確認・施設視察資 料収集	5. 11. 30 ) 6. 2. 2

## 人 事 異 動

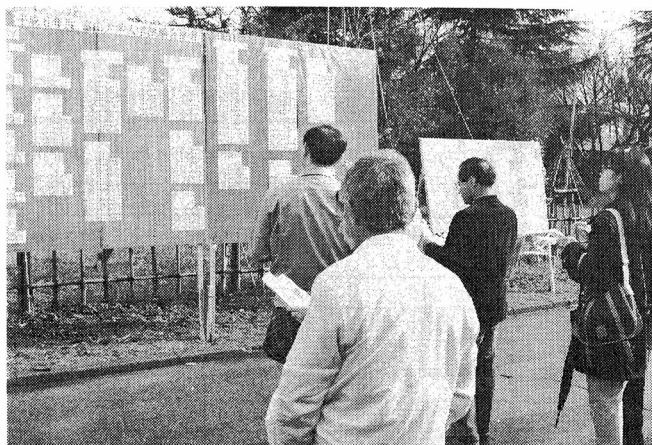
異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
昇 任	6. 1. 1	森田 義則	文部技官(工学部)	助 手(工学部)
転 任	6. 1. 1	三宅 均	文部技官 (水素同位体機能研究センター)	文部技官 (核融合科学研究所技術部装置技術課)
退 職	5. 12. 23	林 敏和	事務補佐員(附属図書館)	平成5年12月22日限り退職した
	"	中村 繁之	" ( " )	"
	"	高越 義一	" ( " )	"
	"	杉森真希子	" ( " )	"
	"	山田 智恵	" ( " )	"
	"	松岡 弘二	" ( " )	"
辞 職	5. 12. 28	澤崎 直美	事務補佐員(附属図書館)	退職を承認する
死 亡	5. 12. 4	中越 矩方	教 授(教育学部)	死 亡(公務外)



平成6年度富山大学推薦入学，帰国子女・社会人特別選抜志願者等状況

区分	学部	学科・課程等	募集人員	志願者数	受験者数	欠席者数	合格者数	備考	
推薦入学	人文	人文学科	5人	29人	—人	—人	—人	5年度募集人員：15人 5年度志願者数：人文学科 50人 語学文科学科 33人	
		国際文化学科	3	17	—	—	—		
		言語文化学科	7	30	—	—	—		
		計	15	76	—	—	—		
	教育	養成中学校課程員課程	数学専攻	2	19	18	1	2	
			理科専攻	2	5	5	0	2	
			美術専攻	2	18	18	0	2	
			保健体育専攻	2	18	18	0	2	
			家庭専攻	2	12	12	0	2	
			技術専攻	2	2	2	0	2	
			教育情報コース	6	20	20	0	6	
			環境情報コース	4	12	12	0	4	
	計	22	106	105	1	22			
	経済	昼間コース	経済学科	30	20	19	1	11	
			経営学科		40	37	3	13	
			経営法学科		13	13	0	7	
			計		73	69	4	31	
		夜間コース	経済学科	20	16	15	1	8	
			経営学科		15	15	0	8	
			経営法学科		6	6	0	5	
			計		37	36	1	21	
	理	数学科	16	78	78	0	18		
		生物圏環境科学科	5	22	22	0	5		
計		21	100	100	0	23			
工	電子情報工学科	普通・理数科	12	40	40	0	12		
		専門(工業)	6	16	15	1	7		
	機械システム工学科	普通・理数科	9	24	23	1	9		
		専門(工業)	4	8	8	0	4		
	物質工学科	普通・理数科	8	14	14	0	8		
		専門(工業)	4	4	4	0	4		
	化学生物工学科	普通・理数科	8	14	14	0	8		
		専門(工業)	4	0	0	0	0		
計	55	120	118	2	52				
合計		163	512	428	8	149			
帰国子女特別選抜	人文	人文学科	若干名	1	1	0	1		
		国際文化学科	〃	0	0	0	0		
		言語文化学科	〃	1	1	0	0		
		計	若干名	2	2	0	1		
	経済	昼間コース	経済学科	若干名	0	0	0	0	
			経営学科		0	0	0	0	
			経営法学科		5	3	2	3	
			計		5	3	2	3	
	理	数学科	若干名	0	0	0	0		
		物理学科	〃	0	0	0	0		
		化学科	〃	0	0	0	0		
		生物学科	〃	0	0	0	0		
		地球科学科	〃	0	0	0	0		
		生物圏環境科学科	〃	0	0	0	0		
	計	若干名	0	0	0	0			
	合計		若干名	7	5	2	4		

区分	学部	学科・課程等	募集人員	志願者数	受験者数	欠席者数	合格者数	備考	
社会人特別選抜	人文	人文学科	若干名	3	2	1	2		
		国際文化学科	〃	2	2	0	1		
		言語文化学科	〃	5	5	0	4		
		計	若干名	10	9	1	7		
	経済	夜間コース 経済学科	20人程度		12	10	2	6	
		経営学科		14	14	0	5		
		経営法学科		13	13	0	8		
		計		39	37	2	19		
	理	物理学科	若干名	1	1	0	0		
		化学科	〃	1	1	0	1		
		生物学科	〃	4	4	0	3		
		地球科学科	〃	0	0	0	0		
		生物圏環境科学科	〃	1	0	1	0		
		計	若干名	7	6	1	4		
	合計		20人程度	56	52	4	30		
	総計		183人程度	575	485	14	183		



◀ 推薦入学、帰国子女・  
社会人特別選抜の合格者発表  
(平成5年12月9日(木))

学内トピックス

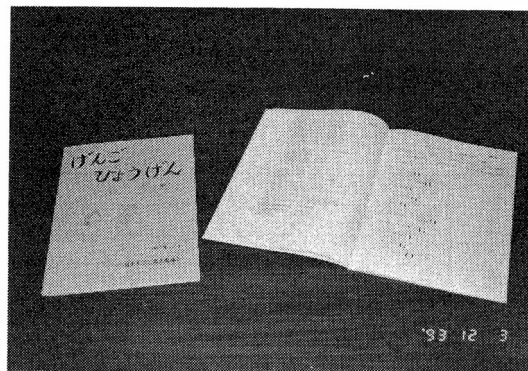
「げんごひょうげん」No.1を発行

— 言語表現教育部会が編集・発行 —

言語による正確な表現及び説得力のある論理の展開は、社会生活を営む上で重要です。「近頃の学生はまともに文章が書けないし話せもしない」という実態を克服するため開設した「言語表現科目」は、毎回学生にレポート、スピーチ、報告の仕方等を学ばせることにより、言語を用いて適確かつ効果的な表現をする能力、あるいは口頭又は文字で発表する能力の向上を目的としたものです。

4月から開始し、既に9ヶ月経過したことに伴い、言語表現教育部会では、このたび教科報告書「げんごひょうげん」No.1を発行しました。この冊子は授業担当者が講義要項、講義内容、学生の授業に対するアンケート結果などを報告書としてまとめたものです。

報告書には教官の努力の跡と学生のこの授業に対する期待感があふれています。



発行された教科報告書「げんごひょうげん」No.1

# お知らせ

## 郵便料金の改定について

平成 6 年 1 月 24 日から郵便料金（小包郵便物を除く）が改定されます。  
 料金は次のとおりです。

### 通常郵便料金表

平成 6 年 1 月 24 日現在

単位 円

		25gまで	50gまで	100gまで	250gまで	500gまで	1kgまで	2kgまで	3kgまで	4kgまで	
第 一 種	普通	定形郵便物	80	90							
		定形外郵便物	130		190	270	390	700	950	1,150	1,350
	市内	定形	<sup>(50)</sup> 65	<sup>(55)</sup> 75							
		特別 定形外		<sup>(80)</sup> 105	<sup>(115)</sup> 155	<sup>(165)</sup> 220					
		郵便書簡	60								
第 二 種	速達	定形郵便物	350	360							
		定形外郵便物	400		460	540	760	1,070	1,580	1,780	1,980
	書留	定形郵便物	500	510							
		定形外郵便物	550		610	690	810	1,120	1,370	1,570	1,770
第 三 種	普通	通常（加がき）	50								
		往復はがき	100								

- 注 1. 市内特別の( )内は同時に1,000通以上、郵便局長が指定する区域ごとに区分し、交付された用紙にその区域名を記載して郵便物とともに把束の上、郵便局に差し出された場合の特別料金です。  
 2. 市内特別郵便物の最大は長さ34cm、幅24cmを超えないもの、重さが250gまでのもの。  
 3. 料金には消費税が含まれています。

#### 通常郵便物の特殊取扱料金 単位 円

種類	区 分	段 階	金 額
書 留	現金	損害賠償額1万円まで	420
		(損害賠償額) 1万円を超える5万円まで	10増
	現金以外	損害賠償額10万円まで	420
		(損害賠償額) 10万円を超える5万円まで	20増
速 達	簡易書留		350
	250gまで		270
	250gを超える1kgまで		370
※ 配達証明	1kgを超える4kgまで		630
	差し出しの際		300
※ 内容証明	差し出しの後		420
	謄本1枚		420
※ 引受時刻証明	謄本1枚を超える1枚増すごとに		250増
	謄本閲覧		420
※ I	特別送達		300
	代金引換	引換金額200万円まで	540
※ II	引換金額200万円まで		250
	配達日指定	出曜日・休日及び年末年始以外の日と指定したもの 9月末以降の出曜日・休日を指定したもの	30 200

※印は書留（簡易書留は除く）とされた場合に限りでの取扱いかたです。  
 ※ I 引換金額3万円未満は簡易書留や普通扱いでも利用できます。

#### レタックス(電子郵便)料金

配達日の3日前差出	通信文1枚目470円、2枚目から1枚につき200円加算
上記以外	通信文1枚目580円、2枚目から1枚につき200円加算

#### 主な郵便物の重さと大きさの制限

区 分	重 量	大 小	大 き さ
第一種郵便物	4kg(定形は150g)まで		円筒形かこれに似た形のもの 直径14cm 高さ3cm 2以外のもの
一般小包郵便物	12kgまで		
書籍小包郵便物	3kgまで		●特例 上記の制限より小さなものでも6cm×12cm以上の耐久力のある厚紙又は布製のあて名札を付ければ送れます。
カタログ小包郵便物	2kgまで		a (長さ) = 1.5m a + b + c = 1.5m

#### 広告郵便物の割引率

1) 差し出しの都度の割引の場合(料金別納又は料金後納扱いのもの)

郵便物の種類	差出通数 2,000	3,000	5,000	10,000	20,000	50,000	100,000通以上
第一種 定形	2,999通	4,999通	9,999通	19,999通	49,999通	99,999通	
第二種 定形外	15%	18%	21%	24%	26%	28%	30%
第三種 通常葉書	7.5%	9%	10.5%	12%	13%	14%	15%
第四種 往復葉書							

2) 月間割引の場合(料金後納扱いのもの)

郵便物の種類	差出通数 10,000	20,000	50,000	100,000	200,000通以上
第一種 定形	19,999通	49,999通	99,999通	199,999通	
第二種 定形外	23%	25%	27%	29%	30%
第三種 通常葉書					
第四種 往復葉書	11.5%	12.5%	13.5%	14.5%	15%

# 国際郵便料金

## 航空通常郵便物の料金

種類	名あて地 重量	地帯		
		第1地帯	第2地帯	第3地帯
		アジア・ グアム・ ミッドウェイ ほか	北アメリカ 中央アメリカ オセアニア 中近東・ヨーロッパ	アフリカ 南米
書状	10gまで	90円	110円	130円
	10gを超える10gまでごとに	60円増	80円増	100円増
郵便はがき	—	世界各国あて 70円均一		
印刷物	20gまで	70円	80円	90円
	20gを超える20gまでごとに	30円増	40円増	50円増
特別郵袋 印刷物	5kgまで	6,000円	8,000円	10,000円
	5kgを超える1kgまでごとに	1,200円増	1,600円増	2,000円増
小形包装物	80gまで	160円	200円	240円
	80gを超える20gまでごとに	30円増	40円増	50円増
航空書簡	—	世界各国あて 90円均一		
点字郵便物	—	無料		

(注)点字郵便物の特殊取扱の料金は、一般の通常郵便物のものと同額となります。

## 船便通常郵便物の料金

種類	重量	料金
書状	20gまで	90円
	50gまで	160円
	100gまで	270円
	250gまで	540円
	1kgまで	1,800円
	2kgまで	2,930円
郵便はがき	—	60円
印刷物	50gまで	70円
	100gまで	90円
	250gまで	130円
	500gまで	220円
	1kgまで	390円
	2kgまで	540円
	2kgを超える1kgまでごとに	270円増
	20gまで	70円
	50gまで	100円
	100gまで	130円
特別郵袋 印刷物	5kgまで	1,350円
	5kgを超える1kgまでごとに	270円増
	5kgまで	2,200円
	5kgを超える1kgまでごとに	450円増
	100gまで	130円
	250gまで	220円
小形包装物	500gまで	430円
	1kgまで	770円
	2kgまで	1,080円
	2kgを超える1kgまでごとに	540円増
	—	無料

(注)点字郵便物の特殊取扱の料金は、一般の通常郵便物のものと同額となります。

## 国際エクスプレスメール(EMS)の料金

地域	名あて地	300gまで	300gを超え500gまで	500gを超え10kgまで100gまでごとに	3kgを超え10kgまで500gまで500gまでごとに	10kgを超える500gまでごとに
アジア	韓国、中国、グアムほか	900円	1,100円	180円増	600円増	450円増
オセアニア	オーストラリアほか	1,300円	1,800円	220円増	900円増	600円増
北・中米	米国、カナダほか					
中近東	クウェイトほか	1,600円	2,000円	220円増	900円増	700円増
ヨーロッパ	英国、スイスほか					
南米	アルゼンティンほか	1,800円	2,200円	400円増	1,300円増	1,000円増
アフリカ	エジプトほか					

(注)各地域に含まれる国名の詳細につきましては、郵便局の窓口でおたずねください。

## 国際レタックス(国際電子郵便)の料金

地域	名あて地	1枚目	2枚目から1枚ごとに	国際ミニレタックス
アジア	韓国、中国、シンガポールほか	1,500円	500円増	1,100円
オセアニア	オーストラリア、ニュー・ジーランドほか			
北・中米	米国、カナダ、バルバドスほか			
中近東	イスラエル、トルコほか	2,100円	900円増	
ヨーロッパ	英国、フランスほか			
南米	アルゼンティン、ブラジル			
アフリカ	エジプト、象牙海岸共和国			

※国際ミニレタックスは、あて名記載部分と通信文記載部分とを一枚にした専用の用紙(A4版)を使用するものです。用紙は、国際レタックスの取扱郵便局に備えてありますのでご利用ください。

## 小包郵便物の料金

地域	名あて地	航空				船便		
		500gまで	500gを超え5kgまで500gまでごとに	5kgを超え10kgまで500gまでごとに	10kgを超える1kgまで	1kgまで	1kgを超え10kgまで1kgまでごとに	10kgを超える1kgまでごとに
東アジアほか	韓国、中国、グアム、ミッドウェイほか	円	円増	円増	円増	円	円増	円増
		1,700	350	300	400	1,500	250	200
東南アジア・西南アジア	タイ、インド、パキスタンほか	2,100	600	500	700	1,700	400	300
北・中米・オセアニア・中近東・ヨーロッパ	米国、カナダ、メキシコ、オーストラリア、イラン、ドイツ、英国、ロシアほか	2,500	850	750	950	1,800	550	350
アフリカ・南米	エジプト、ブラジルほか	3,200	1,400	1,200	1,600	2,200	450	350

## エコノミー航空小包(SAL小包)郵便物の料金

地域	名あて地	1kgまで	1kgを超え5kgまで1kgまでごとに	5kgを超え10kgまで1kgまでごとに	10kgを超える1kgまでごとに
東アジアほか	中国、フィリピン、グアム、ミッドウェイほか	円	円増	円増	円増
		1,800	600	500	300
東南アジア・西南アジア	タイ、インド、パキスタンほか	2,200	700	600	400
北・中米・オセアニア	米国、カナダほか	2,700	1,150	1,050	700
中近東	オーストラリアほか				
ヨーロッパ	英国、フランスほか	3,400	1,600	1,450	1,000
アフリカ・南米	アルゼンティンほか				

## エコノミー航空印刷物(SAL印刷物)の料金

地域	名あて地	20gまで50g100g	100gを超える100gまでごとに
アジア	中国、フィリピン、グアム、ミッドウェイ、インド、スリランカほか	70円 100 160	80円増
オセアニア	オーストラリア、ニュー・ジーランドほか	75 110 180	100
中近東	アラブ首長国連邦、イスラエル、クウェイトほか		
北・中米	カナダ、米国、メキシコほか		
ヨーロッパ	英国、フランス、スイス、スウェーデン、ドイツほか	80 120 200	120
アフリカ	アルジェリア、エジプト、ケニアほか		
南米	アルゼンティン、ブラジル、コロンビア、チリ、ペルー		

## 主な特殊取扱の料金

種類	通常郵便物	小包郵便物
書留料	410円	—
配達料	260円	450円
受取通知料	290円	290円
保険料	保険金額20,000円まで460円(書状に限る)	保険金額20,000円まで400円
	保険金額20,000円を超える20,000円又はその端数ごとに50円増	



## 関 係 法 令

(法 律)			
○ 一般職の職員の給与等に関する法律の一部を改正する法律(82)	11. 12	○ 人事院規則9-34(初任給調整手当)の一部を改正する人事院規則(同9-34-9)	11. 12
(政 令)			
○ 児童手当法施行令の一部を改正する法令(364)	11. 12	○ 人事院規則9-57(教職調整額の支給方法等)の一部を改正する人事院規則(同9-57-9)	11. 12
(省 令)			
○ 児童手当法施行規則の一部を改正する省令(厚生50)	12. 21	○ 人事院規則9-89(単身赴任手当)の一部を改正する人事院規則(同9-89-1)	11. 12
(規 則)			
○ 人事院規則1-4(現行の法律、命令及び規則の廃止)の一部を改正する人事院規則(人事院1-4-13)	11. 12	○ 最高号俸等を受ける職員の俸給の切替え等(同9-96)	11. 12
○ 人事院規則9-8(初任給、昇格、昇給等の基準)の一部を改正する人事院規則(同9-8-21)	11. 12	○ 人事院規則9-30(特殊勤務手当)の一部を改正する人事院規則(同9-30-21)	12. 16
		(告 示)	
		○ 平成6年度科学研究費補助金奨励研究(B)の計画調書の提出期間等を定める件(文部135)	11. 1
		○ 出納官吏事務規程第16条に規定する外国貨幣換算率を定める等の件の一部を改正する件(大蔵254)	12. 13

### ▲ 『冬季の省エネルギーに努めましょう!!』 ▲

石油、天然ガスなどのエネルギー資源は、地球の貴重な財産です。

日頃からエネルギーを効率的に使用するように努めましょう。

- ① 暖房中の室温はおおむね20℃としましょう。
- ② 昼休み中は電灯やコピー等の事務用機器は電源を切りましょう。
- ③ 乗用車は相乗り等により効率的運行を図りましょう。

# 職 員 消 息

**〈新任者住所〉**

人文学部

事務補佐員

(語文棟事務室)

山 田 智 恵

教育学部附属養護学校

教 諭 市 川 明 美

**〈住所変更〉**

人文学部

文部事務官

(用度係)

村 道 俊 一

理 学 部

文部技官 狐 塚 佳 子

(数学科)

工 学 部

文部事務官

横 井 宏 正

(学務係)

教育学部

教 授

(体育実技)

山 下 三 郎

**〈改 姓〉**

理 学 部

文部技官

(数学科)

狐 塚 佳 子 (旧姓：澤田)

## 冬 季 点 検

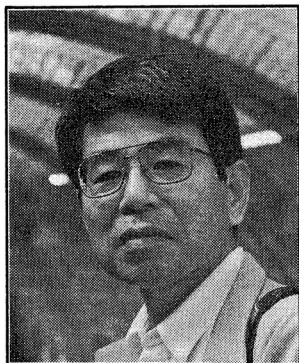
寒さの厳しい季節となりました!!

火災予防と安全管理に万全を期して災害の防止に努めましょう!!

- 暖房器具の点検整備を励行しましょう。
- 退庁時には必ず火元を確認するようお互いに心掛けましょう。
- 灯油など可燃物の貯蔵及び試薬品の管理等には十分注意しましょう。

## 訃 報

## 富山大学教育学部教授 中越矩方氏逝去



本学教育学部教授中越矩方氏が、平成5年12月4日に逝去（享年52歳）されました。

同氏は、昭和39年3月和歌山大学学芸学部を卒業後、同年4月金沢大学大学院理学研究科修士課程（数学専攻）に入学、同41年3月同大学院修士課程を修了し、同年4月金沢工業大学工学部助手、同43年4月同大学同学部講師、同46年3月同大学を退職、同年4月本学教養部講師、同51年10月同助教授、同61年4月同教授、平成5年4月同大学教育学部教授を歴任されました。

この間、永きにわたり教育研究に精励され、特に数学の授業において多年の研究から得られた興味深い話題を提供することにより、多くの学生を魅了し、数学学習への意欲を大いに鼓舞するなど、将来の社会を担う学生の育成に尽力されました。

研究面においては、一貫して代数的整数論、特に代数体の整数についての代数的方法による研究を行い、

日本数学会及びフランス数学会の会員としての活動は日本の整数論研究者のみならず、ドイツ、フランス、スイスにおけるこの分野の研究者にも多大の影響を与えるなど、国際的にも寄与されました。また、昭和42年に発表された素イデアルに関する論文以後、国内・国外の研究雑誌に掲載された論文も多く、その間「不分岐二次拡大体」の研究によって、名古屋大学より理学博士の学位を受けられました。

さらに、平成2年9月には、文部省短期在外研究員としてスイスのジュネーブ大学に滞在し、「代数体の類数」についての共同研究を行うなど、研究の国際交流における役割はその後も続けられ、多大な成果をあげられました。

学内にあっては、教養部施設整備委員としてCL教室その他の整備に尽力され、また、教養部教務委員として教養教育の充実に尽力されるとともに、大学改革の中心となる4年一貫教育・教養部廃止の平成5年度から実施に向けて、カリキュラム問題の検討に熱意を傾けられ、その後の大学の発展に大きく貢献されました。

これらの功績により、平成5年12月4日従四位勲三等瑞宝章を受章されました。

ここに同氏の御功績を偲び顕彰するとともに、御冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表します。



平成5年度第7回学生生活協議会（11月12日）

（審議事項）

- (1) 学生生活協議会の円滑な運営について
- (2) DMに関する学生5団体からの要求書について
- (3) その他

平成5年度第3回授業料等減免選考委員会（11月12日）

（協議事項）

- (1) 平成5年度後期分授業料免除者の選考について
- (2) その他

平成5年度第3回放射性同位元素総合実験室運営委員会  
（11月15日）

（議 題）

- (1) 平成6年度営繕関係経費要求について
- (2) 平成6年度一般設備費要求について
- (3) その他

平成5年度第4回学園ニュース編集委員会（11月17日）

（審議事項）

- (1) 第83号学園ニュースの編集について
- (2) その他

平成5年度第3回入学試験実施委員会（11月18日）

（審議事項）

- (1) 平成6年度入学試験実施委員会専門委員会委員について
- (2) 平成6年度入学試験判定資料の様式について
- (3) 平成6年度大学入試センター試験富山大学試験場の実施体制について
- (4) 平成6年度富山大学入学試験業務予定表について
- (5) 個別学力検査における受験者入室時刻の取り扱いについて
- (6) 入学試験委員会と入学試験実施委員会の審議事項等について

平成5年度第6回附属図書館商議会（11月18日）

（審議事項）

- (1) 次期附属図書館長候補適任者の選考について
- (2) 図書館資料の不用決定及び廃棄の基準について

平成5年度第10回評議会（11月19日）

（報告事項）

- (1) 第51回東海・北陸地区国立大学長会議について
- (2) 平成6年度富山大学大学院理学研究科（修士課程）第2次学生募集要項について
- (3) 平成6年度富山大学推薦入学，帰国子女・社会人特別選抜の入学志願状況について
- (4) 平成5年度民間等との共同研究について
- (5) 学生部報告
- (6) その他

平成5年度第6回大学院委員会（11月19日）

（審議事項）

- (1) 平成6年度富山大学大学院理学研究科（修士課程）第2次学生募集要項について
- (2) その他

平成5年度第5回入学試験委員会（11月25日）

（審議事項）

- (1) 「平成9年度からの大学入試センター試験の出題教科・科目等について—中間まとめ—」についての意見について
- (2) 平成7年度における入学者選抜第2次試験の実施方式・日程について
- (3) 平成6年度入学試験実施委員会専門委員会委員について
- (4) 平成6年度富山大学学生募集人員の変更について

平成5年度第6回事務協議会（11月29日）

（議 題）

当面の諸課題について

平成5年度第4回教養教育委員会（11月29日）

（審議事項）

- (1) 教養教育委員会実施専門委員会委員の推薦について
- (2) 平成6年度営繕関係経費の要求について
- (3) 平成6年度以降の総合科目の開講等について
- (4) 平成5年度非常勤講師任用計画の一部変更について



- (5) 平成6年度以降の教養教育における非常勤講師の資格審査について  
 (6) 平成6年度教養教育授業日程(案)について  
 (7) 教科部所属について  
 (8) その他

## 主 要 行 事

### 本 部

- |        |   |   |
|--------|---|---|
| 11月1日  | 第14回北陸地区国立大学人事担当課長会議<br>(於：福井医科大学)                                | 放射線同位元素総合実験室運営委員会自己点検評価委員会                    |
| 1～4日   | 教職員文化展  | 富山地区人事担当課長会議(於：富山商船高等専門学校)                    |
| 2日     | 国際交流ネットワーク事前会議(於：富山県民会館)  | 15～16日 北陸地区厚生補導担当者研修会(於：国立立山少年自然の家)           |
| 4～5日   | 第51回東海・北陸地区国立大学長会議(於：福井大学)  | 15～17日 平成5年度厚生補導事務研修会(於：国立オリンピック記念青少年総合センター)  |
|        | 第75回東海・北陸地区国立大学学生部部課長会議(於：福井厚生年金会館)                               | 16日 第4回教養教育委員会管理運営専門委員会                       |
| 5日     | 国大協理事会(於：学士会館)  | 17日 第4回学園ニュース編集委員会                            |
|        | 第1回入学試験実施委員会電算処理専門委員会   | 17～18日 国大協第93回総会(於：学士会館)                      |
| 6日     | 富山大学体育会30周年記念式典<br>学内バドミントン大会                                     | 17～19日 平成5年度国立学校等幹部職員研修(部長級)(於：教育会館)          |
| 8日     | 部課長会議   | 18日 第36回北陸6大学施設担当者協議会(於：金沢大学)                 |
| 8～9日   | 全国国立大学理学系学長会議(於：京都大学)   | 第3回入学試験実施委員会                                  |
| 8～12日  | 入学願書(特別選抜)受付  | 18～21日 第3回全国産業教育フェア(於：富山県民会館)                 |
| 9日     | 第6回教養教育委員会企画専門委員会<br>第2回体育部会                                      | 19日 第10回評議会<br>第6回大学院委員会                      |
| 9～11日  | 平成5年度富山地区国立学校等中堅職員研修<br>(於：国立立山少年自然の家)                            | 国大協第60回事務連絡会議(於：学士会館)                         |
| 9～12日  | 平成5年度東海・北陸地区国立学校等係長研修(於：氷見)                                       | 会計係長会議<br>学内卓球大会                              |
| 10日    | 施設整備委員会施設長期計画検討会  | 24日 部課長会議                                     |
| 10～11日 | 第57回国立大学学生部次長協議会(於：津都ホテル)   | 第2回キャンパスプラン検討会                                |
| 11日    | 第6回教養教育委員会実施専門委員会<br>日本育英会奨学金返還に関する説明会                            | 25日 教職員生涯生活設計セミナー<br>平成6年度概算要求事項等の説明会(於：金沢大学) |
| 12日    | 富山共済組合支部連絡協議会ポーリング大会<br>第7回学生生活協議会<br>第3回授業料等減免選考委員会<br>職業補導担当者会議 | 25～26日 第14回国立大学等研究協力部課長会議(於：かんぼーる京都)          |
| 15日    | 第3回放射性同位元素総合実験室運営委員会  | 26日 富山県留学生等交流推進会議(於：高志会館)                     |
|        |   | 27日 国際交流ネットワーク会議(於：富山県民会館)                    |
|        |   | 29日 第6回事務協議会<br>第4回教養教育委員会                    |

30日 理学視学委員による実地視察  
平成5年度文部省会計実地監査(12/3まで)

## 人 文 学 部

11月5日 学部講座代表者会議と情報処理センター運営  
委員会委員との合同会議  
学部入学者選抜方法検討委員会  
9日 学部教務委員会  
10日 教授会  
教授会(人事)  
11日 係長会議  
17日 学部自己点検評価委員会  
24日 予算委員会  
学部将来計画委員会  
26日 係長会議

## 教 育 学 部

11月8日 教育学研究科準備委員会  
9~15日 附属幼稚園入園願書・附属養護学校入学願書  
受付  
10日 教務委員会  
教授会  
人事教授会  
11日 人事委員会  
24日 附属校園長委員会  
係長連絡会  
25日 職業補導委員会  
29日 予算委員会  
30日 附属校園長委員会  
学生生活委員会

## 経 済 学 部

11月5日 第10回夜間主コース設置大学懇談会(於:K  
KR東京竹橋)  
8日 学部入学方法検討委員会(持ち回り)  
9日 係長会議  
10日 学部教務委員会  
人事教授会  
教授会  
15日 学部職業補導委員会  
16日 学部図書委員会

17日 大学院経済学研究科委員会小委員会  
コンピュータ管理運営委員会  
学部施設整備委員会

19日 平成5年度秋季国立12大学経済・経営学部長  
及び事務長会議(於:東京郵便貯金会館)

24日 人事教授会  
教授会

## 理 学 部

11月2日 委員会委員選出等検討委員会  
環境学研究科(博士課程)構想検討委員会  
5日 学科長会議  
10日 教授会  
理学研究科委員会  
人事教授会  
17日 大学院設置構想推進委員会教務部会  
大学院設置構想推進委員会  
24日 学科長会議  
学部自己点検評価委員会  
25日 学部教務委員会  
30日 理学視学委員による実地視察

## 工 学 部

11月8日 学部運営委員会  
10日 教授会  
教官懇談会  
研究科委員会  
専任教授会  
12日 博士課程実施対策委員会  
大学院運営委員会  
17日 入学試験検討委員会  
22日 教務委員会  
25~26日 第26回北陸信越地区国立大学工学部長会議  
(於:富山大学)  
29日 係長会議  
29~30日 第44回国立大学工学部長会議総会運営委員会  
(於:京都工芸繊維大学)

## 附 属 図 書 館

11月11~12日 平成5年度北信越地区国立大学図書館研修会  
(於:金沢大学附属図書館)

- 16日 係長連絡会  
18日 平成5年度学術情報センターシンポジウム  
(於：神戸国際会議場)  
第6回附属図書館商議会  
19日 平成5年度北陸地区国立大学附属図書館会計  
担当者会議(於：富山大学)  
24～25日 平成5年度北信越地区国立大学附属図書館事  
務(部・課)長会議(於：福井厚生年金会館)  
26日 係長連絡会  
30日 平成5年度文部省会計実地監査

水素同位体機能研究センター

- 11月11日 文部省関係者視察

地域共同研究センター

- 11月2日 地域共同研究センター講演会  
10日 第5回大学院生教育講座  
17日 第2回技術セミナー  
19日 第6回大学院生教育講座  
24日 第7回経営者・研究者交流会  
25日 企業見学と産学交流会(於：SMK<sup>(株)</sup>富山事  
業所)

保健管理センター

- 11月24日 第1回健康の集い

編 集 富山大学庶務部庶務課  
富山市五福3190  
印刷所 あけぼの企画株式会社  
富山市住吉町1丁目5-18  
電話(24)1755(代)